

# 砂糖の価格調整業務実績について (令和5砂糖年度)

特産調整部、特産業務部

## はじめに

当機構では「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」(昭和40年法律第109号)に基づき、輸入糖、異性化糖および輸入加糖調製品の買入れ・売戻しにより調整金を徴収し、それらを財源として国内のサトウキビ生産者やてん菜糖・甘じゃ糖の製造事業者に交付金の交付などの支援を行うことで内外価格差を調整し、国内の砂糖の安定的な供給の確保を図っている。

本稿では、令和5砂糖年度(令和5年10月1日～令和6年9月30日。以下「5SY」という)における砂糖の価格調整業務実績などについて取りまとめたので報告する。

## 1 砂糖の価格調整業務における収支

### (1) 収支

5SYの調整金収支は、72億円の赤字(前SYは121億円の赤字)となり、引き続き大幅な単年度赤字となるとともに、期末残高はマイナス638億円(4SY期末:566億円の赤字)と大変厳しい状況となる見込みである(表1、図1)。

また、6SY(令和6年10月1日～令和7年9月

30日)は、令和6年9月に農林水産省が公表した6SYの各種指標価格を踏まえると、収支の改善が図られる見通しであるが、期末残高の動向には引き続き注視が必要である。

### (2) 収入

収入については、輸入糖は、経済活動の回復により輸入量は増加したものの、円安や砂糖の国際相場が依然として高い水準で推移したことにより調整金単価が低下したため、前SYより66億円減の154億円となった(表1)。

一方、異性化糖については、13年ぶりに令和6年1月から機構売買が発生したことや同年4月から運用見直しが行われたことなどから10億円、輸入加糖調製品については、前SYより8億円増の103億円の収入となったものの、輸入糖収入の低下が響き、国費も含む収入全体では前SYより59億円減の358億円となった。

### (3) 支出

支出については、てん菜糖、甘じゃ糖ともに交付金単価が下落したこと、てん菜の国庫納付金額が減少したことなどから、全体としては前SYより107億円減の431億円となる見込みである。

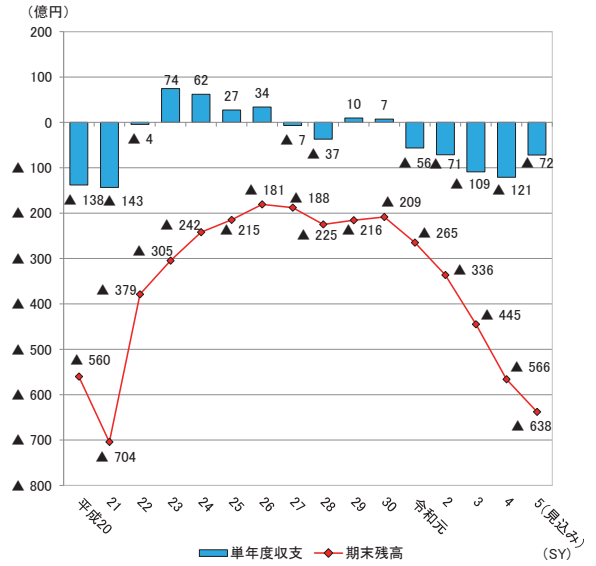
表1 5SY収支見込みおよび前年度比較

(単位：億円)

	令和3SY	4SY	5SY(見込み)	対4SY増減
収入	486	417	358	▲ 59
輸入糖	293	220	154	▲ 66
異性化糖	—	—	10	10
輸入加糖調製品	84	95	103	8
国費	109	102	91	▲ 11
支出	595	538	431	▲ 107
てん菜糖	141	148	104	▲ 44
甘しや糖	95	78	66	▲ 12
てん菜(国庫納付)	132	106	64	▲ 42
さとうきび	225	205	195	▲ 10
その他	1	1	1	0
単年度収支	▲ 109	▲ 121	▲ 72	49
期末残高	▲ 445	▲ 566	▲ 638	▲ 72

注1：ラウンドの関係で合計および増減が一致しない場合がある。  
 注2：てん菜(国庫納付)のみ確定前のため見込みを記載。最終確定は令和7年2月ごろの見込み。

図1 砂糖の調整金収支の推移



注1：ラウンドの関係で単年度収支と期末残高が一致しない場合がある。  
 注2：平成22SYに糖価調整緊急対策交付金329億円を充当(単年度収支には含まない)。

## 2 調整金徴収業務

### (1) 5SYの指標価格等

5SYを含む直近3砂糖年度の指標価格等は表2の通り。

表2 直近3砂糖年度の指標価格等

	令和3SY	4SY	5SY
砂糖調整基準価格(円/トン)	153,200	153,200	153,200
前年比(円)	±0	±0	±0
指定糖調整率(%)	37.00	37.00	37.00
前年比(ポイント)	±0	±0	±0

注1：令和3年9月30日農林水産省告示第1637号、令和4年9月30日農林水産省告示第1494号および令和5年9月29日農林水産省告示第1222号によって告示された基準価格。  
 注2：砂糖調整基準価格とは、輸入粗糖と国内産糖との価格調整の基準となる金額。  
 注3：指定糖調整率とは、粗糖の輸入者から徴収する調整金の負担水準を定める率。内外の粗糖のコスト格差に当該率を乗じて、調整金単価を算定。

### (2) 砂糖の需要と供給

令和6年9月に農林水産省が公表した砂糖及び異性化糖の需給見通し(以下「需給見通し」という)

によると、5SYの砂糖の需給(見込み)は表3、4の通り。

表3 砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

項目	期間	令和4砂糖年度 (実績)	令和5砂糖年度				計	
			10-12月 (実績)	1-3月 (実績)	4-6月 (実績)	7-9月 (実績見込み)		
消費量	分みつ糖	1,748	459.7	407.9	440.5	435.2	1,743	
	含みつ糖	32	6.7	11.4	9.4	7.3	35	
	合計	1,781	466.4	419.3	449.9	442.5	1,778	
供給量	国内産糖	分みつ糖	694	280.9	244.1	50.0	-	575
		含みつ糖	8	1.0	6.6	1.0	-	8
		小計	702	281.9	250.7	51.0	-	583
	輸入糖	分みつ糖	1,054	254.6	242.0	313.5	332.3	1,142
		含みつ糖	6	1.1	2.9	2.0	0.9	7
		小計	1,060	255.7	244.9	315.5	333.2	1,149
	合計	分みつ糖	1,748	535.5	486.1	363.5	332.3	1,717
		含みつ糖	14	2.1	9.5	3.0	0.9	15
		小計	1,762	537.6	495.6	366.5	333.2	1,733
期末在庫		343	419.1	463.3	414.7	304.3	304	

資料：農林水産省「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表4 砂糖及び異性化糖の需給総括表

砂糖年度	総需要量		国内産糖生産（供給）量					輸入量 千トン	1人当たり 消費量 kg	異性化糖 需要量 千トン
	千トン	対前年比 %	千トン	てん菜糖			甘しや糖 千トン			
				千トン	白糖 千トン	原料糖 千トン				
昭和50	2,877	5.6	449	224	224	-	213	2,351	25.6	-
60	2,655	0.5	870	574	574	-	285	1,779	21.9	617
平成2	2,643	0.4	865	644	527	116	212	1,693	21.3	725
7	2,435	▲1.5	842	650	491	159	183	1,606	19.4	733
12	2,293	▲0.3	730	569	446	123	153	1,483	18.1	741
17	2,165	▲2.9	839	699	452	247	132	1,326	17.0	790
18	2,181	0.7	800	643	451	192	148	1,346	17.1	801
19	2,197	0.7	861	683	454	229	169	1,380	17.2	824
20	2,136	▲2.8	878	683	451	232	186	1,222	16.7	784
21	2,099	▲1.7	861	683	433	250	168	1,263	16.5	803
22	2,095	▲0.2	655	490	424	66	156	1,431	16.4	806
23	2,039	▲2.7	674	564	446	118	104	1,375	16.0	812
24	2,026	▲0.6	691	561	416	145	122	1,338	15.9	827
25	2,006	▲1.0	687	551	410	140	129	1,284	15.8	812
26	1,971	▲1.7	737	607	410	197	122	1,220	15.5	792
27	1,983	0.6	813	676	423	253	129	1,235	15.6	818
28	1,957	▲1.3	688	505	400	105	173	1,214	15.4	832
29	1,921	▲1.8	794	656	432	224	128	1,111	15.2	832
30	1,895	▲1.4	745	614	401	213	120	1,183	15.0	824
令和元	1,779	▲6.1	788	650	415	235	127	1,030	14.1	785
2	1,769	▲0.6	783	630	384	246	142	1,025	14.1	750
3	1,803	1.9	792	639	386	252	144	984	14.4	760
4	1,804	0.0	702	562	399	163	132	1,065	14.5	767
5(見込み)	1,802	▲0.1	584	447	374	73	128	1,149	14.5	779
6(見通し)	1,810	0.4	662	521	403	118	131	1,121	14.5	780

資料：農林水産省「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」

注1：分みつ糖は精製糖ベースの数量、含みつ糖については製品ベースの数量、異性化糖は標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

注2：国内産糖生産量と輸入量の合計と総需要量の差は在庫変動である。

注3：国内産糖生産量の合計には含みつ糖生産量を含む。

注4：総需要量は、分みつ糖消費量、含みつ糖消費量および工業用などの合計である。

注5：輸入量は、通関実績の数値である。

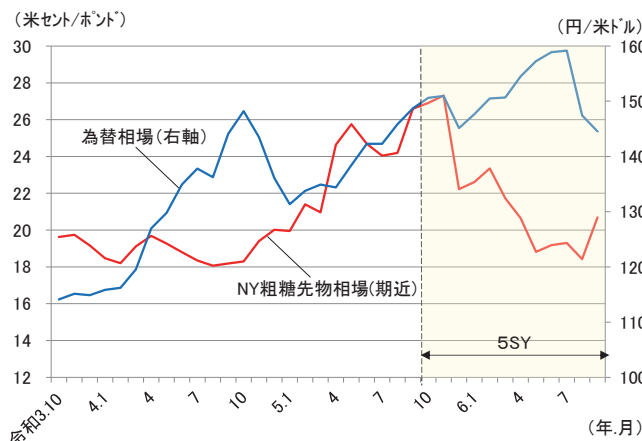
### (3) 国際相場などの動き

ニューヨーク粗糖先物相場の5SYの動きは、SY当初の令和5年10月から11月にかけては、原油価格の高騰により、バイオエタノール需要の増加が見込まれ砂糖向けの供給がひっ迫する懸念により、1ポンド当たり27米セント前後で推移し、同年11月の平均は27.31米セントをつけた。その後、12月に入り、ブラジルでの増産見込みを受け、令和5年12月21日には、20.24米セントと9カ月半ぶりの安値まで下落した。令和6年に入ると、1月後半か

らインドの供給不足が発表されたことにより再び値を上げ、同年2月の平均は23.36米セントをつけた。4月に入るとインドやタイの砂糖の増産見込みにより、4月17日には19.32米セントと15カ月ぶりの安値をつけた。

その後は9月中旬までおおむね20米セントを下回る水準で推移していたものの、ブラジルでの長引く乾期や農場火災の影響により、9月25日には23.42米セントまで上昇し、9月の月平均価格は20米セント台で5SYを終えた(図2)。

図2 直近3砂糖年度のニューヨーク粗糖先物相場および為替相場の推移(月平均)



### (4) 粗糖、加糖調製品糖および異性化糖の平均輸入価格等

5SYにおける粗糖および加糖調製品糖の平均輸入価格、異性化糖の平均供給価格は表5～7の通り。

特に、粗糖は国際相場の高止まりや為替相場の円安傾向が続いたこともあり、平均輸入価格は年間を通して1トン当たり10万円を超える水準で推移した。

表5 粗糖の平均輸入価格等

期 間	粗糖 平均輸入価格 (円/トン)	粗糖 (円/トン)				粗糖NY相場		為替 (円/米ドル)	
		買入価格	売戻価格	軽減額	調整金単価	(米セント/ポンド)	(米ドル/トン)		
令和3SY	令和3年 10月～12月	63,840	63,840	93,903	3,000	30,063	18.62	410.52	111.08
	4年 1月～3月	66,840	66,840	95,793	3,000	28,953	19.52	430.34	114.41
	4年 4月～6月	66,090	66,090	95,321	3,000	29,231	18.57	409.39	116.55
	4年 7月～9月	76,740	76,740	102,030	3,000	25,290	19.35	426.59	129.34
4SY	4年 10月～12月	82,460	82,460	104,734	3,900	22,274	18.20	401.24	138.50
	5年 1月～3月	88,910	88,910	108,797	3,900	19,887	19.08	420.64	143.59
	5年 4月～6月	87,670	87,670	108,016	3,900	20,346	20.67	455.69	133.69
	5年 7月～9月	104,290	104,290	118,487	3,900	14,197	24.88	548.50	137.09
5SY	5年 10月～12月	109,950	109,950	121,853	4,100	11,903	24.60	542.33	145.09
	6年 1月～3月	118,090	118,090	126,981	4,100	8,891	25.90	570.99	149.45
	6年 4月～6月	108,020	108,020	120,637	4,100	12,617	22.47	495.37	148.81
	6年 7月～9月	104,620	104,620	118,495	4,100	13,875	19.73	434.97	156.14

表6 加糖調製品糖の平均輸入価格等

期 間		加糖調製品糖 平均輸入価格 (円/トン)	加糖調製品糖 標準価格 (円/トン)
令和 3SY	令和3年 10月～12月	128,243	233,914
	4年 1月～3月	136,482	237,111
	4年 4月～6月	136,918	236,313
	4年 7月～9月	151,164	247,665
4SY	4年 10月～12月	150,111	231,378
	5年 1月～3月	152,752	237,548
	5年 4月～6月	150,046	236,362
	5年 7月～9月	163,534	252,259
5SY	5年 10月～12月	169,925	243,237
	6年 1月～3月	175,473	250,496
	6年 4月～6月	162,976	241,515
	6年 7月～9月	158,759	238,483

表7 異性化糖の平均供給価格等

期 間		平均供給価格 (円/トン)	異性化糖 標準価格 (円/トン)	調整金単価 (円/トン)
令和 3SY	令和3年 10月～12月	147,031	132,883	-
	4年 1月～3月	152,777	134,698	-
	4年 4月～6月	161,557	134,244	-
	4年 7月～9月	178,340	140,702	-
4SY	4年 10月～12月	183,071	146,491	-
	5年 1月～3月	184,982	150,390	-
	5年 4月～6月	177,638	149,645	-
	5年 7月～9月	172,217	159,710	-
5SY	5年 10月～12月	168,966	165,154	-
	6年 1月～3月	169,700	170,089	389
	6年 4月～6月	167,994	170,003	2,009
	6年 7月～9月	172,271	174,485	2,214

注：異性化糖の平均供給価格が異性化糖標準価格を下回った場合に機構売買を行う。

## (5) 売買実績

### ア 輸入糖

5SYの輸入糖の売買数量は前SY比9.6%増の120万3000トンとなった(表8)。経済活動の回復による国内需要の増加により売買数量は増えたも

の、粗糖の国際相場が高値で推移したことおよび円安の継続に伴う平均輸入価格の上昇により、調整金収入が減少したことから、売買差額は前SY比30.0%減の153億9000万円と大幅に減少した。

表8 輸入糖・異性化糖等・輸入加糖調製品の売買実績

SY	輸入糖		異性化糖等		輸入加糖調製品		売買差額合計 (百万円)
	売買数量 (千トン)	売買差額 (百万円)	売買数量 (千トン)	売買差額 (百万円)	売買数量 (千トン)	売買差額 (百万円)	
令和3	991	29,283	-	-	418	8,417	37,700
4	1,098	21,972	-	-	360	9,526	31,498
5	1,203	15,390	601	1,010	326	10,344	26,744

注1：ラウンドの関係で合計が一致しない場合がある。

注2：異性化糖等の令和5SYの実績は、令和5年12月まで売買が無かったことから、令和6年1月から9月までの間の実績である。

## イ 輸入加糖調製品

5SYの輸入加糖調製品の売買数量は前SY比9.4%減の32万6000トンとなった。これは、円安の継続により砂糖に対する価格優位性が薄れたことや、ココア調製品の原料であるカカオの価格が高騰したことなどにより、数量が減少したためである。しかし、円安傾向が続いたことからCIF価格（課税標準価額）は上昇したため、売買差額は増加し前SY比8.6%増の103億4400万円となった（表8）。

## ウ 異性化糖等

5SYの異性化糖等の売買は、令和5年10－12月期までは、異性化糖の平均供給価格（機構の買入価格）が異性化糖標準価格（機構の実質的な売戻価格）を上回ったことから、売買は行われなかったが、令和6年1－3月期以降は平均供給価格が標準価格を下回り13年ぶりに売買が発生した。また、同年4月以降異性化糖売買の運用見直しが行われ、引き続き売買が発生した。これらの結果、異性化糖等の売買数量は60万1000トン、調整金収入は10億1000万円となった（表8）。

## 3 交付金交付業務など

### (1) 甘味資源作物および国内産糖の生産動向

#### ア てん菜・てん菜糖

5SYのてん菜は、作付面積の減少に加え、高温多湿により褐斑病<sup>かっばんびょう</sup>が多発したことから、根中糖分が低下し昭和61年の糖分取引開始以降最低の13.7%となった。その結果、てん菜の生産量は前SY比4.0%減の340万3000トン、産糖量は大幅に減少し同20.3%減の44万8000トンとなった（表9）。

表9 てん菜・てん菜糖の生産動向

SY	作付面積 (ha)	単収 (トン/ha)	生産量 (千トン)	歩留り (%)	産糖量 (千トン)
令和3	57,509	70.61	4,061	15.76	640
4	55,182	64.23	3,545	15.87	562
5	51,081	66.61	3,403	13.15	448

資料：農林水産省「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見直し（第1回）」

#### イ サトウキビ・甘しゅ糖

5SYの鹿児島県および沖縄県のサトウキビは、一部の島において春から夏にかけて干ばつがあったことなどの影響が見られた。その結果、両県を合わせた生産量は前SY比7.0%減の118万1000トン、産糖量は同2.9%減の13万4000トンとなった（表10、11）。

表10 鹿児島産サトウキビ・甘しゅ糖の生産動向

SY	収穫面積 (ha)	単収 (トン/ha)	生産量 (千トン)	分みつ糖原料率 (%)	歩留り (%)	産糖量 (千トン)
令和3	9,511	57.06	543	99.03	11.93	64
4	9,566	55.73	533	99.03	11.78	62
5	9,502	54.36	517	99.02	12.32	63

資料：農林水産省「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見直し（第1回）」

表11 沖縄産サトウキビ・甘しゅ糖の生産動向

SY	収穫面積 (ha)	単収 (トン/ha)	生産量 (千トン)	分みつ糖原料率 (%)	歩留り (%)	産糖量 (千トン)
令和3	13,791	59.13	815	89.84	11.86	87
4	13,679	53.91	737	91.99	11.26	76
5	13,164	50.46	664	91.31	11.69	71

資料：農林水産省「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見直し（第1回）」

### (2) 交付金の交付状況など

#### ア 甘味資源作物交付金（サトウキビのみ）

サトウキビの収穫期はおおむね12月から翌年5月ごろまでであり、製造事業者への売渡し数量に応じて生産者に交付金を交付している。5SYは、サトウキビ生産量の減少を受け、交付決定数量が前SY比



7.3%減の111万8000トンとなり、交付決定金額は、同4.7%減の195億3600万円となった（表12）。

表12 甘味資源作物交付金交付決定実績

SY	交付金単価 (円/トン)	交付決定数量 (千トン)	交付決定金額 (百万円)	(参考) 基準糖度帯
令和3	16,860	1,270	22,528	13.1度~14.3度
4	16,860	1,206	20,502	13.1度~14.3度
5	16,860 (16,030)	1,118	19,536	13.1度~14.3度

注：令和5SYの交付金単価の上段は免税事業者向け、下段かっこ内は課税事業者向けの単価である。

## イ 国内産糖交付金

### (ア) てん菜糖の交付状況

てん菜糖製造事業者の販売は年間を通じて行われ、販売数量に応じて交付金を交付している。5SYは、交付決定数量が前SY比18.1%減の51万2000トンとなった。また、交付決定金額は、交付金単価の低下の影響も重なり同29.7%減の103億7800万円となった（表13）。

表13 てん菜糖交付金交付決定実績

SY	交付金単価 (円/トン)	交付決定数量		交付決定金額 (百万円)
		年産	数量 (千トン)	
令和3	21,709	元	1	14,135
		2	245	
		3	396	
4	23,788	2	1	14,763
		3	243	
		4	381	
5	19,828	3	1	10,378
		4	181	
		5	330	

注：表のほか、令和3SYは平成30年産30トン、令和4SYは令和元年産119トン、令和5SYは令和2年産257トンの交付決定を行っている。

### (イ) 甘しや糖の交付状況

甘しや糖製造事業者が製造した粗糖は、製糖後それほど期間を置かずに精製糖メーカーに販売されるため、操業時期に対応して交付金を交付している。

5SYは、サトウキビの生産量が減少したことから産糖量も減少し、交付決定数量は前SY比2.9%減の13万4000トンとなった。また、交付決定金額は、てん菜糖と同様に交付金単価の低下を受けて同15.6%減の66億1300万円となった（表14）。

表14 甘しや糖交付金交付決定実績

SY	鹿児島県産		沖縄県産		合計	
	交付決定数量 (千トン)	交付金額 (百万円)	交付決定数量 (千トン)	交付金額 (百万円)	交付決定数量 (千トン)	交付金額 (百万円)
令和3	65	3,841	87	5,690	152	9,531
4	62	3,252	76	4,585	138	7,837
5	63	2,851	71	3,762	134	6,613

注：交付金単価は、島ごとに設定されているため省略する。

### (3) 国庫納付金納付業務（てん菜）

てん菜生産者への農業の担い手に対する経営安定のための交付金の交付に要する経費の財源に充てるため、農林水産大臣からの通知に従い、5SY（発生ベース）分として、調整金収入などから64億2400万円を国庫に納付する見込みである。

5SYは前SYと比較し調整金収入の減少およびてん菜の生産量が減少したことなどにより、国庫への納付金額も減少した（表15）。

表15 国庫納付金納付実績の推移

SY	国庫納付金額 (百万円)
令和3	13,182
4	10,593
5（見込み）	6,424